



クリアホープフロアブル

農林水産省登録 第22655号

1/2

令和4年1月11日現在

適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の 使 用 回 数	使用方法	ベントキサゾン を含む農薬の 総使用回数	A C N を 含む農薬の 総使用回数
移植 水稻	水田一年生雑草、 マツバイ、 ホタルイ、 ヘラオモダカ、 ミズガヤツリ、 アオミドロ・藻類 による表層はく離	植代後～移植前7日 又は 移植直後～ノビエ1葉期 ただし、移植後30日まで	500mℓ/10a	1回	原液湛水散布 又は 水口施用	2回以内	3回以内
		移植時			田植同時 散布機で施用		



アグロ カネショウ株式会社

<https://www.agrokanesho.co.jp/>



効果・薬害等の注意

- 使用の直前に容器を良く振る。
- 使用量に合わせ秤量し、使いきる。
- 本剤は雑草の発生前から発生始期に有効なので、ノビエの1葉期までに時期を失しないように散布する。
なお、多年生雑草は、生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に散布するように注意する。
ホタルイ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生始期が本剤の散布適期である。
- 苗の植え付けが均一になるように、整地、代かきはいねいに行い、ワラくずなどの浮遊物はできるだけ取り除く。また、未熟有機物を施用した場合は特にいねいに行う。
- 散布に当たっては、水の出入りを止めて湛水状態のまま本剤を水田全面にゆきわたるよう散布し、少なくとも4日間は通常の湛水状態（水深3～5cm程度）を保ち、田面を露出させたり、水を切らしたりしないよう注意し、また、散布後7日間は落水、かけ流しはしない。
- 梅雨時期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は除草効果が低下するおそれがあるので使用はさける。
- 苗が水没するような深水状態では、葉鞘部に軽い褐変症状が出るおそれがあるので水管理に注意する。
- 散布数日以内の梅雨明けなどによる異常高温では、初期生育の抑制が生じるおそれがあるので使用しない。
- 以下の水田では初期生育の抑制を生じるおそれがあるので使用をさける。
 - ①砂質土壌の水田及び漏水田（減水深2cm／日以上）
 - ②軟弱徒長苗を移植した水田
 - ③極端な浅植や深植をした水田
- れんこん、くわい、せりなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意する。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象時は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

安全使用上の注意



- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意する。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換する。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。

治 療 法…該当なし

魚毒性等…水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、養魚田では使用しない。

水産動植物（藻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。
散布後は水管理に注意する。
散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

保 管…密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼な所。

